

役職／職名	現代英語学科長／英語教育担当主任／教授	所属	現代国際学部 現代英語学科	
ふりがな	きむら しげお	生年	1955年	
学歴	東京大学文学部（語学文学）卒業（1978年） 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専門課程修了（1981年） 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専門課程第1種博士課程退学（1983年）			
学位	文学修士			
研究分野	英語圏文学、ポストコロニアル研究、カルチュラル・スタディーズ			
研究テーマ	言語文化とグローバルイゼーション			

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
『ポストコロニアル文学の現在』	共	2004年6月	晃洋書房	
『英語文学の越境―ポストコロニアル／カルチュラル・スタディーズの視点から―』	共	2010年3月	英宝社	
『土着と近代―グローバルの大洋を行く英語圏文学』	共	2015年10月	音羽鶴見書房	
『言語と文化の諸相』	共	1996年4月	英宝社	
『シェイクスピア饗宴―英米文学の視座から』	共	1996年8月	英宝社	
『言語文化学概論』	共	1997年11月	大阪大学出版会	
『ラドヤード・キプリング―作品と批評』	共	2003年6月	松柏社	
『英米文学の可能性―玉井曜教授退職記念論文集―』	共	2010年3月	英宝社	
『文学批評への招待』	共	2018年3月	放送大学教育振興会	

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
『ナーシッサス号の黒人』に於ける語りの携帯―現実と幻想と―	単	1983年5月	『リーディング4』（東京大学文学部英文研究室）	
コンラッド『謎の奥』試論	単	1985年2月	『言語文化研究 XI』（大阪大学言語文化部）	
ロマンスと曖昧性―Lord JimとThe Portrait of a Ladyをめぐって	単	1988年10月	『英国小説研究 第15冊』（篠崎書林）	
コンラッドと芸術家小説―『姉妹』覚え書き	単	1991年2月	『言語文化研究 第17号』（大阪大学言語文化部）	
コンラッドと冒険	単	1996年4月	（共著）『言語と文化の諸相』（英宝社）	
コンラッドの『越境』	単	1996年8月	（共著）『シェイクスピア饗宴―英米文学の視座から』（英宝社）	
比較言語文化論―言語文化の境界―	単	1997年11月）	（共著）『言語文化学概論』（大阪大学出版会）	
グローバル化とポストコロニアル化―現文化交流の基礎理論に向けて―	単	1999年3月	『日本をめぐる国際関係と言語文化交流の史的研究』（科学研究費研究成果報告書）	
ポストコロニアル文学はどこから来たか―帝国の眼とキプリングの眼―	単	2001年3月	『言語文化共同研究プロジェクト2000：カルチュラル・スタディーズの理論と実践』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
「ポストコロニアル性」とナイポール	単	2001年9月	『英語青年』（研究社）	
ポストコロニアル、グローバル、ラシュディー	単	2002年3月	『言語文化共同研究プロジェクト2001：カルチュラル・スタディーズの理論と実践 II―ポストコロニアルとグローバルイゼーション―』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
モダニズムと植民地主義―ヴァージニア・ウルフの<内なるヴィジョン>をめぐって	単	2003年4月	『言語文化共同研究プロジェクト2002：カルチュラル・スタディーズの理論と実践III―帝国の文化とポストコロニアル文学―』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
短編（インドもの）	単	2003年6月	（共著）『ラドヤード・キプリング―作品と批評』（松柏社）	
サイドとコンラッド―世界とのパートナーシップ	単	2004年1月	『英語青年』（研究社）	
『田舎と都会』とその後―レイモンド・ウィリアムズとポストコロニアル批評―	単	2006年3月	『英語青年』（研究社）	
サルマン・ラシュディの『悪魔の詩』―行動するテキスト	単	2004年6月	（共著）『ポストコロニアル文学の現在』（晃洋書房）	
V.S.ナイポール	単	2004年6月	（共著）『ポストコロニアル文学の現在』（晃洋書房）	
ポストコロニアル・フォーメーションズ―序章に代えて―	単	2006年5月	『言語文化共同研究プロジェクト2005：ポストコロニアル・フォーメーションズ』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
ポストコロニアリズムの課題―ポストコロニアル性とグローバル性―	単	2007年4月	『英語青年』（研究社）	
主体の集合性に関する断章―序に代えて―	単	2007年5月	『言語文化共同研究プロジェクト2006：ポストコロニアル・フォーメーションズⅡ』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
ポストコロニアル性とコスモポリタニズム―差異性と普遍性のはざまで―	単	2008年5月	『言語文化共同研究プロジェクト2007：ポストコロニアル・フォーメーションズⅢ』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
「ポストコロニアル」の到着と出発―V.S.ナイポールの『到着の謎』をめぐって―	単	2009年5月	『言語文化共同研究プロジェクト2008：ポストコロニアル・フォーメーションズⅣ』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
『ノストロモ』点描―「ポストコロニアル」の視点を中心に―	単	2010年3月	（共著）『英米文学の可能性―玉井曜教授退職記念論文集―』（英宝社）	
ポストコロニアル性とコスモポリタニズム―差異性と普遍性のはざまで―	単	2010年3月	（共著）『英語文学の越境―ポストコロニアル／カルチュラル・スタディーズの視点から―』（英宝社）	
ポストコロニアル・フォーメーションズ2010―序にかえて―	単	2011年5月	『言語文化共同研究プロジェクト2010：ポストコロニアル・フォーメーションズⅥ』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
文化の共通性と排除性―序にかえて―	単	2012年5月	『言語文化共同研究プロジェクト2011：ポストコロニアル・フォーメーションズⅦ』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
土着と近代、周辺と中心、ローカルとグローバル―その狭間の理論と文学	単	2014年5月	『言語文化共同研究プロジェクト2013：ポストコロニアル・フォーメーションズⅨ』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
土着と近代、ローカルとグローバル：スピヴァクと現代移民小説を中心に	単	2015年10月	（共著）『土着と近代―グローバルの大洋を行く英語圏文学』（音羽鶴見書房）	
「グローバルイゼーション研究」覚え書き―『悪魔の詩』を手掛かりに―	単	2016年5月	『言語文化共同研究プロジェクト2015：ポストコロニアル・フォーメーションズⅩ』（大阪大学大学院言語文化研究科）	
ポストコロニアル批評（1）―「ベンによる帝国の逆襲」	単	2018年3月	（共著）『文学批評への招待』（放送大学教育振興会）	
ポストコロニアル批評（2）―グローバルイゼーション時代における文学と批評	単	2018年3月	（共著）『文学批評への招待』（放送大学教育振興会）	
言語文化の「北」と「南」―ポストコロニアルの理論と文学―	単	2020年12月	『遼望』（遼望記念会）	
クツツェーを読むスピヴァク―他者を知る／語るということ	単	2021年3月	『Artes MUNDI』（名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター）	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
コンラッドと冒険	単	1993年5月	日本英文学会65回大会	
コンラッドの『越境』	単	1994年5月	日本英文学会第66回大会シンポジウム「大英帝国とイギリス小説」	
ディッケンズとコンラッド―Household and Empire	単	1999年5月	ディッケンズ・フェロウシップ日本支部1999年春季大会シンポジウム「後輩作家から見たディッケンズ」	
ポストコロニアル時代から見たキプリングとコンラッド	単	1999年12月	日本キプリング協会第4回全国大会、特別講演	
Voyage In, Voyage Out	単	2002年10月	日本ヴァージニア・ウルフ協会第22回全国大会シンポジウム「Globalization, Nationalism, Englishness―ウルフを通して見えてくるもの」	
ポストコロニアル文学批評の新展開―（アンチ）グローバル・ナラティブを求めて	単	2006年10月	日本英文学会中部支部第58回大会シンポジウム	
ポストコロニアル・フロンテ	単	2011年7月	日本フロンテ協会関西支部2011年夏季大会、招待講演	
土着と近代、差異と普遍、ローカルとグローバル―その狭間の理論と文学	単	2013年10月	日本英文学会中部支部第65回大会シンポジウム「『土着性』と『近代性』？―「ポストコロニアル」文学を再読する」	
グローバルイゼーションの表象と解釈	単	2015年5月	日本英文学会第87回全国大会シンポジウム「グローバル都市ロンドンの表象―文学・社会・アート」	
スピヴァクを読むスピヴァク―他者を知る／語るということ	単	2021年7月13日	中京大学英米文化・文学会 特別講演会	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
名古屋外国語大学2023年度2期末FD「新しい初年次教育のあり方」にコメントターとして参加	2024年2月	
2023年度名古屋外国語大学教育研究活動助成による「ポストコロナ時代における英語教育の在り方とその導入をめぐる具体的方法の模索」（代表：ハンフリー恵子）に参加し、その報告書を分担執筆	2024年5月	

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	備考
Academic Topics for Listening Practice	共	2009年3月	
『John McLeod, Beginning Postcolonialism：英語で読む現代世界の文化・社会・言語』	共	2015年1月	

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本英文学会、日本英文学会関西支部、大阪大学言語文化学会

所属学会役員歴等

所属学会及び役員名	期間（年月）	備考
日本英文学会 大会準備委員	1995年4月～1998年3月	
日本英文学会 編集委員	1999年4月～2003年3月	
日本英文学会 編集委員会顧問	2019年4月～2024年3月	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
1983年4月	大阪大学言語文化部助手	
1985年4月	大阪大学言語文化部講師	
1990年7月	大阪大学言語文化部助教授	
2002年4月	大阪大学言語文化部教授	
2005年4月	大阪大学大学院言語文化研究科教授（配置換）	
2010年4月～2014年3月、2015年4月～2019年3月	大阪大学大学院言語文化研究科長	
2018年4月～2020年3月	大阪大学マルチリンガル教育センター長	
2020年4月～	名古屋外国語大学現代国際学部教授	
2020年4月～	現代国際学部英語教育担当主任	
2021年4月～	現代国際学部現代英語学科長	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
-------	---------

World Englishes	現代国際学部現代英語学科
世界における言語政策	現代国際学部現代英語学科
ポストコロニアルの文学と文化	現代国際学部現代英語学科
Academic Skills I/II	現代国際学部現代英語学科
基礎ゼミナール I/II	現代国際学部現代英語学科
専門ゼミナール I/II/III/IV	現代国際学部現代英語学科
ことばと文化	現代国際学部現代英語学科
グローバルシティズンシップ入門	現代国際学部現代英語学科